

# 常任委員会報告

12月13日の本会議において、各常任委員会に付託された議案審査は、慎重な審査の結果、全議案について可決した。

## 総務常任委員会 (12月16日)

**質問** 議案第64号小城市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例について、これまでの再任用で65歳まで働く働き方と65歳まで定年延長の違いは。また役職定年は60歳だが、副課長以下で60歳を迎えた場合はどうなるのか。

**答弁** これまで60歳で退職し退職手当の支給を受けてその後は短時間勤務となっていたが、定年まで働く、あるいは一旦退職し短時間で働く等生活設計の考え方が変わる。また、副課長以下はその役職のまま勤務する。

**質問** 議案第66号小城市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について、消防団の報酬及び費用弁償の改正だが、災害等の出勤については8,000円の支給となっているが、訓練等の費用弁償についてはどうなるか。また改正後の支給方法は。

**答弁** 費用弁償についても消防団と協議し、一部見直しを行っている。支給方法は直接個人の口座に振り込むことで考えている。口座情報については消防団を通して収集するが封筒で封をする等個人情報に留意する。

**質問** 議案第67号小城市税条例の一部を改正する条例について、商品軽自動車の課税免除であるが、販売業者が使用した場合罰則はあるか、また減額の見込みは。

**答弁** 罰則は設けていない。車検証やメーターの写真等を添付してもらい確認する。課税免除は約100台129万円の減額を見込んでいる。

**質問** 議案第72号令和4年度小城市一般会計補正予算(第9号)歳出ごみ処理費のごみ袋作成委託料の財源で、資源物回収収入の売却単価は上がっているか。

**答弁** 金属の単価については、昨年平均がキロ当たり4円程度だったが、現在11円くらい見込んでいる。

## 文教厚生常任委員会 (12月15日)

**質問** 議案第72号令和4年度小城市一般会計補正予算(第9号)のうち、児童措置費の保育所等給食費補助事業の給付対象が、15園の予定から2園となった理由は。

**答弁** 給食費補助金については、3歳以上は保護者の負担金が4,500円から6,000円、0、1、2歳児は7,500円の国基準の対象経費があり、その対象経費を超える場合に補助金ができることとなっており、食材は高騰しているが、栄養、量等が変わらないよう食材の部位等を変更したことによって、まかなうことができ、結果、13園は該当ならなかった。

**質問** 歳出10款教育費文化財保護費の土生遺跡修復はどこに発注するのか。

**答弁** 土生遺跡の構造が特殊であるため、以前、施工した市内業者を考えている。

※執行部から説明・議案第75号 令和4年度小城市病院事業会計補正予算(第2号) 支出3項特別損失1目過年度損益修正損ということで、702万9千円計上している。これは、コロナ病床確保の補助金について、令和3年度分の計上誤りとして返還を計上している。内容としては、会計検査が他であり、佐賀県の医務課から同じような状況がないか調査があり、調べたところ退院の日を空床として取り扱っていたが、そこについては診療報酬が支払われるので空床扱いにはできないという指摘があり、99床×7万1千円を計上している。



▲園での給食の様子

## 産業建設常任委員会 (12月19日)

**質問** 小城市公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例第2条において、公募するものとするところがあるが、どのような手続きをしたか。

**答弁** 条例第5条に候補者の選定の特例として、第2条の規定による公募によらず適当と認める団体を候補者として選定することができるとあり、小城市指定管理者候補者選定委員会設置要綱第6条にもつき単独指定を決定し、株式会社まちづくり小城を選定している。

**質問** 設計の委託料を当初ではなく12月補正で計上している経緯は。

**答弁** JAから6月に相談があり、新たな倉庫の建設を考えており、敷地内の再編計画を考えていると相談があった。その後、協議を重ね、今年度中に再編計画の中で道路の形状も決められないかと相談があったので、詳細設計を計上している。



▲災害現場を視察 (三日月町遠江)